

# 内分泌・代謝内科学分野

## 論文

### A 欧文

A-a

1. Abiru N, Shoji S, Kosakai Y, Snijder R, Asakawa K, Rokuda M: Demographic and clinical characteristics of patients with type 1 diabetes mellitus initiating sodium-glucose cotransporter 2 inhibitors in Japan: a real-world administrative database analysis.. *Diabetes Research and Clinical Practice* 190: 109973, 2022. doi: 10.1016/j.diabres.2022.109973. (IF: 5.1)
2. Nakamura Y, Horie I, Kanetaka K, Eguchi S, Nakamichi S, Hongo R, Takashima M, Kawakami A, Abiru N: Exenatide challenge in oral glucose tolerance test is insufficient for predictions of glucose metabolism and insulin secretion after sleeve gastrectomy (SG) in obese patients with type 2 diabetes: a pilot study to establish a preoperative model to estimate  $\beta$ -cell function following augmented glucagon-like peptide-1 secretion after SG. *Endocrine Journal* 69(12): 1457-1465, 2022. doi: 10.1507/endocrj.ej22-0224. (IF: 2)
3. Jhala G, Krishnamurthy B, Brodnicki TC, Ge T, Akazawa S, Selck C, Trivedi PM, Pappas EG, Mackin L, Principe N, Brémaud E, De George DJ, Boon L, Smyth I, Chee J, Kay TWH, Thomas HE: Interferons limit autoantigen-specific CD8+ T-cell expansion in the non-obese diabetic mouse.. *Cell reports* 39(4): 110747, 2022. doi: 10.1016/j.celrep.2022.110747. (IF: 8.8)
4. Tsurumaru M, Horie I, Ikeoka T, Abiru N, Kawakami A: Analysis of HLA class II genes associated with susceptibility to type 1 diabetes in Japanese patients with autoimmune thyroid disease. *Acta Medica Nagasakiensia* 65(2): 37-43, 2022.

### B 邦文

B-a

1. 山下魁理, 金本 正, 立石 洋平, 上田 真由, 中村 祐太, 辻野 彰: 甲状腺クリーゼによりプロテインCが低下していた脳梗塞の2例. *臨床神経学* 62(11): 839-843, 2022.
2. 世羅 至子, 宮崎 美咲, 本郷 涼子, 塩竈 由紀子, 溝田 記子, 富永 玲子, 山本 広美, 鎌田 昭江, 原田 薫, 畠山 今日子, 牧瀬 由佳, 山下 理恵, 森 明子, 山口 洋美, 杉本 悠花, 四辻 由紀, 野中 文陽, 福島 徹也, 桑原 宏永, 山崎 浩則, 藤田 成浩, 阿比留 教生: 長崎県での地域巡回型糖尿病療養指導士育成セミナー参加者の意識調査. *長崎医学会雑誌* 97(1): 22-30, 2022.
3. 古林 正和, 有森 春香, 鎌田 昭江, 阿比留 教生, 三輪 昌輝, 森本 心平, 前田 真由美, 小川 さやか, 夏田 昌子, 西野 友哉: COVID-19感染拡大に伴う自粛前後での大学生の体重増加と生活因子の検討. *CAMPUS HEALTH* 59(1): 95-97, 2022.

B-b

1. 上田 真由, 堀江 一郎, 今泉 美彩: 【甲状腺疾患アップデート:明日から役立つ最新知見】Basedow病治療の新たな展開 Basedow病131I内用療法. *診断と治療* 111(5): 617-621, 2022.
2. 堀江 一郎: 【内分泌疾患と糖尿病】甲状腺疾患と糖尿病. *糖尿病* 65(7): 354-356, 2022.
3. 堀江一郎, 阿比留教生: 【1型糖尿病-診療と研究の最前線】病態研究 1型糖尿病とグルカゴン分泌調節異常. *医学のあゆみ* 281(6): 717-722, 2022.

B-e-1

1. 鎌田 昭江: 栄養相談にコーチングを取り入れてこころに栄養を. *日本病態栄養学会誌*: 2022.
2. 上田 真由, 池岡 俊幸, 久保 萌子, 中嶋 遥美, 赤澤 諭, 堀江 一郎, 宇佐 俊郎, 川上 純: 治療的血漿交換が有用と考えられた急性肝不全合併甲状腺クリーゼの一例. *日本内分泌学会雑誌* 98(1): 355, 2022.
3. 右田 賢二郎, 上田 真由, 池岡 俊幸, 堀江 一郎, 宇佐 俊郎, 川上 純: COVID-19ワクチン接種を契機とした副腎クリーゼの1例. *日本内科学会九州地方会* 338回: 47, 2022.
4. 山西 優香, 尾藤 大輔, 伊藤 文子, 堀江 一郎, 宇佐 俊郎: 先端巨大症の長期経過中に甲状腺乳頭癌末分化転化を生じた1例. *日本内科学会九州地方会* 338回: 49, 2022.
5. 中嶋 遥美, 堀江 一郎, 今泉 美彩, 宇佐 俊郎, 川上 純: 進行性放射性ヨウ素内用療法抵抗成分化型甲状腺癌(RR-DTC)に対するレンバチニブ使用症例予後の検討. *日本内分泌学会雑誌* 98(4): 76, 2022.
6. 山崎 悠介, 上田 真由, 中村 祐太, 中路 啓太, 中嶋 遥美, 池岡 俊幸, 赤澤 諭, 堀江 一郎, 川上 純: レンバチニブが肺転移に著効したものの、血気胸を来たし死亡した甲状腺未分化癌の一例. *日本内分泌学会雑誌* 98(4): 81, 2022.

7. 錦戸 慎平, 赤澤 諭, 二里 哲朗, 三輪 昌輝, 阿比留 教生: 抗原特異的CD8<sup>+</sup>T細胞のIRF4ハプロ不全は膵島炎から糖尿病自然発症への進展を完全に抑制する. 日本先進糖尿病治療・1型糖尿病研究会プログラム・抄録集 21回: 58, 2022.
8. 中村 祐太, 堀江 一郎, 阿比留 教生, 北村 忠弘, 楠 宜樹, 西田 健朗, 廣田 勇士, 福井 智康, 前田 泰孝, 松井 孝憲: 1型糖尿病の補助療法: イブラグリフロジン服用のグルカゴン分泌動態への影響—Suglat-AID研究—. 日本先進糖尿病治療・2型糖尿病研究会プログラム・抄録集 21回: 46, 2022.
9. 二里 哲朗, 井上 信一, 錦戸 慎平, 赤澤 諭, 三輪 昌輝, 古林 正和, 由井 克之, 阿比留 教生, 川上 純: 転写因子IRF4の抗原特異的CD4<sup>+</sup>T細胞および自然免疫系細胞への関与と自己免疫性糖尿病進展への役割について. 日本先進糖尿病治療・3型糖尿病研究会プログラム・抄録集 21回: 60, 2022.
10. 鎌田 昭江: 糖尿病医療学コーチング講座2022. 日本糖尿病医療学学会 9回: 2022.
11. 堀江 一郎: 甲状腺眼症の治療と管理における変革. 日本甲状腺学会学術集会プログラム・抄録集 65回: 2022.
12. 上田 真由, 松田 勝也, 黒濱 大和, Zhanna M, Yerkezhan S, 近藤 久義, 松岡 優毅, 大坪 智恵子, 佐藤 伸也, 山下 弘幸, 川上 純, 中島 正洋: 低分化成分を有する結節内結節型甲状腺良性結節の分子病理学的特徴解析. 日本甲状腺学会学術集会プログラム・抄録集 65回: 68, 2022.
13. 小出 桜子, 有森 春香, 重野 里代子, 中嶋 遥美, 池岡 俊幸, 堀江 一郎, 宇佐 俊郎, 川上 純: 甲状腺ホルモン産生を認めた転移性甲状腺濾胞癌の一例. 日本内分泌学会雑誌 98(2): 588, 2022.

#### B-e-2

1. 堀江 一郎:  
臨床・基礎におけるグルカゴン研究の進歩 様々な病態におけるグルカゴン分泌反応. 糖尿病 65(Suppl.1): S, 2022.
2. 重野 里代子, 堀江 一郎, 中嶋 遥美, 池岡 俊幸, 赤澤 諭, 宇佐 俊郎, 阿比留 教生, 川上 純: 2型糖尿病患者と健常人におけるHRpQCTを用いた骨微細構造の比較検討. 糖尿病 65(Suppl.1): S, 2022.
3. 有森 春香, 鎌田 昭江, 三輪 昌輝, 山本 広美, 森本 心平, 古林 正和, 阿比留 教生: COVID-19感染拡大に伴う自粛後の大学生の短期的および中期的な体重変化と生活状況関連因子の関連についての検討. 糖尿病 65(Suppl.1): S, 2022.
4. 阿比留 教生, 東海林 真吾, 小坂井 吉憲, 浅川 恵子, 六田 光洋:  
SGLT2阻害剤を新規処方された1型糖尿病患者の臨床的特徴:国内大規模レセプトデータベースを用いた研究. 糖尿病 65(Suppl.1): S, 2022.
5. 五反田 幸一郎, 有森 春香, 重野 里代子, 中嶋 遥美, 池岡 俊幸, 赤澤 諭, 堀江 一郎, 鎌田 昭江, 阿比留 教生, 岡野 慎士, 川上 純: IgG4関連自己免疫性膵炎が合併し急激な血糖上昇を認めた高齢1型糖尿病の1例. 糖尿病 65(Suppl.1): S, 2022.
6. 錦戸 慎平, 赤澤 諭, 二里 哲朗, 三輪 昌輝, 阿比留 教生: IRF4遺伝子ハプロ不全は膵島抗原特異的な細胞障害性T細胞を介して自己免疫性糖尿病自然発症を完全に抑制する. 糖尿病 65(Suppl.1): S, 2022.
7. 二里 哲朗, 井上 信一, 錦戸 慎平, 赤澤 諭, 三輪 昌輝, 古林 正和, 由井 克之, 川上 純, 阿比留 教生:  
転写因子IRF4の抗原特異的CD4<sup>+</sup>T細胞と自然免疫系細胞を介した糖尿病進展に与える影響の検討. 糖尿病 65(Suppl.1): S, 2022.
8. 鎌田 昭江: 成人肥満症患者への療養指導. 糖尿病 66(5): 379-380, 2022.
9. 溝田 記子, 古谷 順也, 廣佐 古 裕子, 藤田 伊代, 高島 美和, 本郷 涼子, 金高 賢悟, 江口 晋, 堀江 一郎: 高度肥満症に対するスリーブ状胃切除後のたんぱく質摂取量と骨格筋との関係. 糖尿病 66(5): 400-401, 2022.
10. 重野 里代子, 堀江 一郎, 中嶋 遥美, 池岡 俊幸, 赤澤 諭, 鎌田 昭江, 川上 純: 日本人2型糖尿病患者におけるHRpQCTを用いた骨微細構造の検討. 糖尿病 66(5): 406, 2022.
11. 五反田 幸一郎, 鎌田 昭江, 酒匂 あやか, 三谷 紗貴, 錦戸 慎平, 池岡 俊幸, 阿比留 教生, 堀江 一郎, 川上 純: 両側尿管ステント留置後のSGLT2阻害薬再開後に尿路感染症を発症した2型糖尿病の1例. 糖尿病 66(5): 415-416, 2022.
12. 中村 祐太, 堀江 一郎, 重野 里代子, 原口 愛, 阿比留 教生, 川上 純: ミトコンドリア糖尿病に対する5-アミノレブリン酸の耐糖能改善効果のパイロット研究. 糖尿病 66(5): 422, 2022.
13. 三谷 紗貴, 五反田 幸一郎, 錦戸 慎平, 池岡 俊幸, 堀江 一郎, 川上 純: ハイブリッドクローズドループシステム導入により周術期血糖管理を行った1型糖尿病. 糖尿病 66(5): 447, 2022.

14. 重野 里代子, 堀江 一郎: 妊娠糖尿病既往女性において、産褥期のインスリンとグルカゴンのbi-hormonal障害が産後1年の耐糖能障害に関与する. 糖尿病と妊娠 22(3): S64-S65, 2022.

## 学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	2	2	4	23

## 社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
宇佐俊郎・教授	原子力災害医療ネットワーク検討会委員	長崎県
宇佐俊郎・教授	原子力災害医療ネットワーク検討会作業部会主査	長崎県
宇佐俊郎・教授	社会保険診療報酬支払基金審査委員	長崎県
宇佐俊郎・教授	在外被爆者支援事業関係医療調整会議構成員	長崎県
宇佐俊郎・教授	佐賀地区原子力災害医療ネットワーク検討会委員	佐賀県
宇佐俊郎・教授	甲状腺検査支援合同委員会委員	福島県
宇佐俊郎・教授	評議員	日本内分泌学会
宇佐俊郎・教授	理事	長崎大学医師会
古林正和・准教授	社会保険診療報酬支払基金審査委員	長崎県
古林正和・准教授	フィジカルヘルス委員会委員	一般社団法人国立大学保健管理施設協議会
鎌田昭江・講師	糖尿病検討委員会委員	長崎県
鎌田昭江・講師	コーチング委員会委員	日本糖尿病医療学学会
鎌田昭江・講師	幹事	日本臨床コーチング研究会
堀江一郎・講師	指定難病審査会委員	長崎県
堀江一郎・講師	委員	長崎県糖尿病腎症重症化予防推進会議
堀江一郎・講師	委員	長崎市ストップCKDネットワーク会議
堀江一郎・講師	評議員	日本内分泌学会
堀江一郎・講師	九州支部幹事	日本内分泌学会
堀江一郎・講師	評議員	日本糖尿病学会
堀江一郎・講師	評議員	日本糖尿病・妊娠学会
堀江一郎・講師	評議員	日本甲状腺学会
池岡俊幸・助教	評議員	日本内分泌学会

## 競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
古林正和・准教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「学生健診を活用したメタボリックシンドローム(MetS)の発症予知」
鎌田昭江・講師	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「オンラインでの双方向性連携を活用した県内の医療施設での糖尿病治療標準化への有効性」

堀江一郎・講師	ノバルティス ファーマ株式会社	代表	2019年度ノバルティス研究助成「2型糖尿病に合併する続発性骨粗鬆症の病態解析研究：第二世代高解像度末梢骨用定量的CT (HR-pQCT) による骨微細構造解析」
赤澤諭・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「1型糖尿病のエフェクター機能を反映した抗原特異的T細胞マーカーの開発」
二里哲朗・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「膝島内環境における細胞代謝変化と自己免疫性糖尿病進展の関連性の検討」

## その他

### 非常勤講師

氏名・職	職(担当科目)	関係機関名
鎌田昭江・講師	非常勤講師(生活と福祉)	放送大学(長崎学習センター)
鎌田昭江・講師	非常勤講師(生命倫理)	長崎県立大学
堀江一郎・講師	非常勤講師(生活と福祉)	放送大学(長崎学習センター)
赤澤 諭・助教	非常勤講師(生活と福祉)	放送大学(長崎学習センター)

### 学術賞受賞

氏名・職	賞の名称	授与機関名	授賞理由、研究内容等
重野里代子・助教	若手奨励賞	日本糖尿病妊娠学会	研究内容が評価された。
中尾朋恵・医員	第7回JES We Can九州支部賞	日本内分泌学会	研究内容が評価された。
酒匂あやか・医員	若手研究奨励賞	日本甲状腺学会	研究内容が評価された。

### 特筆すべき事項

- ・鎌田昭江・講師：第65回日本糖尿病学会年次学術集会「日本糖尿病学会」「日本糖尿病医療学学会」合同企画シンポジウムにてファシリテーターを務めた(2022/5/13)。
- ・鎌田昭江・講師：長崎県栄養士会生涯学習講座の講師を務めた(2022/8/20)。
- ・錦戸慎平・医員：第3回千葉1型糖尿病患者の会にて「1型糖尿病と共に生きる～医師として、患者としてみる1型糖尿病～」の講演を行った(2022/2/27)。